

①基本目標

基本目標1：正しくおいしく食べましょう！

(1) 栄養・食生活

◇行政の取組み

達成状況

達成：○ 未達成×

課題1：ライフスタイルに合わせた正しい食習慣を身につける	H30年度	R1年度
取組①食に関する情報をまとめて発信できる場所を設置する		
・食育のバナーを作るなど、住民が活用しやすいようにホームページの整備を図る	○	○
・若い世代が情報を得やすいように、多様な場所の開拓（駅・銀行・医療機関・商業施設など）や興味を持つ方法で食に関する情報を発信していく	○	○
取組②料理教室など、食に関する体験の機会を増やす		
・若い世代（20～30歳代・中学生など）に対して料理教室などを開催し、食に関する体験の機会を増やす	○	○
取組③地域での食生活改善行動がしやすい仕組みをつくる		
・各小学校区などで「あすなる会」が活動しやすいしくみをつくる	○	○
取組④食に関する普及活動を実施する人材を育成する		
・「あすなる会」の養成講座の定期開催を目指す	○	○
・「せいか食育劇団もぐもぐ」のメンバーの増員を図る	○	○
取組⑤専門職による相談体制を充実させる		
・幼児健診（1歳6か月児健診・2歳児歯科健診・3歳6か月児健診）で栄養士による相談を増設し相談体制を充実させる	○	○
取組⑥食に関する団体・組織のネットワークを強化する		
・若い母親世代に対し、食に興味を持ってもらうための取組を「あすなる会」や子育て支援センターと連携して実施する	○	○
・商工会を通して、地域の商店で食の情報発信がスムーズにできるように連携していく	○	○
課題2：全世代において「食育」への関心を高める		
取組①地域で一緒に料理をしたり食べる機会を増やす		
・「あすなる会」のが実施する料理教室を増やせるように活動体制を強化する	○	○
取組②食育の意味を知っている人を増やす		
・男性や若い世代に対して情報発信を強化する	○	○
取組③体験型の食育イベントを増やす		
・せいか365プロジェクト「体感！野菜のそごちから」において、野菜に興味をもってもらうイベントなどを実施する	○	○
達成率	100%	100%

【令和元年度に取組めたこと】

【課題1】

〈取組①〉

- 食育啓発ホームページ、バナーの充実：新規ページの増設
- 食情報の発信場所拡充：祝園駅東西連絡通路「食」ブースでの情報提供。
- 「京都府食の健康づくり応援店」登録 支援実施（登録店4店舗）

〈取組②〉

- 「せいか365あすなるクッキング」として、新規料理教室の開催。（全8回）

〈取組⑤〉

- 乳幼児健診で個別栄養相談の実施。

【課題2】

〈取組①〉

- 「せいか365あすなるクッキング」として、中学生や妊婦、男性を対象とした新規料理教室を開催

〈取組③〉

- せいか365プロジェクト活動育成セミナー「いつも野菜カフェレストラン」プロジェクトでの食農体験イベントの実施

【令和2年度の取組状況】

- 食生活改善推進員養成等の人材発掘・育成
 - ⇒●感染症拡大防止のため中止
- 「京都府食の健康づくり応援店」登録支援
 - ⇒●令和2年度新規登録18店舗（登録店舗22店舗）
- 食に関する情報発信
 - ⇒●発信場所の新規開拓（アピタ・国立国会図書館・すずらん館）
 - ホームページによるの新規情報42項目追加（アレルギー予防、離乳食動画、フレイル予防等）
- あすなる会による食生活改善事業
 - ⇒●料理講習会については感染拡大防止のため中止
 - 新しいレシピの開発（64品）及び次年度料理講習会試作
- せいか365プロジェクト活動育成セミナー「いつも野菜カフェレストラン」プロジェクト活動継続支援
 - ⇒●活動継続支援中

基本目標1：正しくおいしく食べましょう！

(2) 歯と口の健康

◇行政の取組み

達成状況

達成：○ 未達成×

課題1：生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わうことができる		H30年度	R1年度
取組①歯の健康に関する情報を発信し、住民の歯の健康づくりに対する意識を高める			
	・歯周病と生活習慣との関連や定期健診の必要性について、広報誌・ホームページの活用や公共機関、商業施設などを利用して啓発する	×	×
	・歯科講演会を実施し、啓発を図る	○	○
	・歯科情報に触れる機会が増えるよう、保健事業などで歯科情報を掲示する	○	○
取組②歯科健診を受けやすい環境づくりを推進する			
	・町内歯科医療機関の場所や診療科目情報をわかりやすいリーフレットにして配布する	○	○
	・歯科医師会及び歯科衛生士と協議の場を持ち、健診を受けやすい環境づくりを進める	×	×
達成率		60%	60%

【令和元年度に取り組んだこと】

【課題1】

- 〈取組①〉 ● 歯科医師による講演会及びテレビ放送による情報発信
 ● 乳幼児健診にて、歯科健診・歯みがき指導の実施やリーフレットを配布
 ● パパママ教室で幼児の歯磨き指導を実施
 ● せいか祭りで「歯のひろば」を実施し、歯科健診・フッ素塗布を施行
 ● 保健センターに歯科情報（第一大臼歯）に関するポスター掲示
 ● 「家族の健康カレンダー」に歯科保健に関するクイズを掲載
- 〈取組②〉 ● 「家族の健康カレンダー」に歯科医院の一覧を継続掲載

【令和2年度の取組状況】

- 乳幼児健診で啓発資料の見直しを図り、幼児期からの歯科の健康づくりについて啓発していく
- 歯科保健の現状把握や課題整理を行い、歯科医師や歯科衛生士と検討する機会を持つ
 - ⇒ ● 歯科衛生士と乳幼児の歯科の課題について協議し、啓発方法について検討中。
 - ⇒ ● 歯科医師と後期高齢者の歯科健診について協議中
 - ⇒ ● 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」において、歯科衛生士による保健指導を実施。

基本目標 2：楽しく体を動かそう！

(1) 運動・身体活動

◇行政の取組み

達成状況 達成：○ 未達成×

課題	H30年度	R1年度
課題1：子供が身体を使う楽しさを身に着ける		
取組①親子を対象にした昔遊びや手づくり遊びの場を増やす		
・親子で参加できるイベントと合わせ身体活動の必要性を学ぶ場所や機会をつく	○	○
取組②関係機関が協力しあい、子どもの体力の向上の取組をする		
・関係課・体育協会・小中学校と、問題の共有や対策について協議の場を設け取組の充実を図る	×	×
課題2：みんなが自分にあった運動を実践する		
取組①年齢に応じた運動についての情報発信と学ぶ機会を充実させる		
・運動や外遊びの重要性について、乳幼児健診の場などを利用して啓発を行う	○	○
・運動の重要性についてデータや数値を活用し、年齢に応じた啓発を図る	×	×
・ロコモティブシンドロームについて、定期的な広報掲載や啓発場所の拡大を図る	○	○
取組②専門家による運動相談ができる場を充実させる		
・専門的な相談の場である特定健診の結果説明会や健康教室の周知を強化する	○	○
・体育協会など関係機関や団体と連携を図り、相談の場の充実を図る	○	○
課題3：運動に取り組みやすい環境づくりをする		
取組①運動に関する仲間づくりやコミュニティができるようなしくみづくりをする		
・健康教室参加者の自主グループづくりの支援をする	○	○
・住民協働の活動支援・育成により、運動づくりに取り組む団体数やイベント数を増やす	○	○
取組②戸外で身体を動かすイベントを定期的に開催する		
・定期のウォーキングイベントだけでなく、身体を動かすイベントを多様な視点で開催する	○	○
・若い世代が運動するきっかけとして、親子で参加できるイベントを企画・実施する	○	○
取組③様々な年代の人が楽しく参加できる運動イベントを開催する		
・ウォークラリーなど誰でも参加できるイベントを実施する	○	○
取組④地域でウォーキングロードなどをつくり、イベントを企画する		
・「歩く」をテーマに住民協働でウォーキングコースの作成やイベントを実施する	○	○
・「いちご☆体操プロジェクト」でいちご体操の啓発やイベントの拡充を進めていく	○	○
取組⑤身近に運動を楽しめる施設や場所などの環境を整備する		
・町内各課が連携して、運動できる環境整備を推進する	○	○
・無関心層が運動するきっかけづくりとして、健康ポイント制度の導入を進める	○	○
達成率	87.50%	87.50%

【令和元年度に取り組んだこと】

【課題1】

〈取組①〉 ●「第1回せいか健康・スポーツ交流フェスティバル」を体育協会等と合同で実施

- 親子参加の遊びイベントの実施
(せいか祭り：わくわく健康里山の会の木工体験、
せいか365プロジェクト活動育成セミナー：森の基地プロジェクト)

【課題2】

〈取組①〉 ●乳幼児健診等で、体を動かす重要性について保健指導等で啓発

- 同志社大学・京都医療センターと、特定健診を活用しフレイルと認知症の共同研究事業を実施

【課題3】

〈取組①②③④〉

- 健康づくり団体（せいか365プロジェクト3団体、精華町ふるさと案内人の会、精華町体育協会）と協働で親子参加のウォークラリーやウォークイベントの企画（イベントは感染拡大防止のため中止）
- せいか祭りでスタンプラリーを実施

〈取組⑤〉 ●歩数計アプリと連動健康ポイントを連動させポイント付与のメニューを追加

【令和2年度の取組状況】

- 子ども体力向上の取組として関係機関等と協議の場を設定する
⇒●養護教諭と話し合いの場をもち、教育分野と保健分野の連携のきっかけづくりをした
- 健康ポイント事業利用者の拡大を図る。
⇒●子育て世代の利用者拡大のため、母子健康手帳交付時や乳幼児健診、子育て支援事業等で申込勧奨
- その他
⇒●「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」においてフレイル予防を目的にアンケート及びチラシを配布。DVDの作成し運動の啓発

基本目標3：みんなでニコニコ健康生活！

(1) 生活習慣病・循環器疾患・がん

◇行政の取り組み

達成状況 達成：○ 未達成×

課題1：望ましい生活習慣を身につける	H30年度	R1年度
取組①健康づくりを実践している住民グループを支援する		
・教室終了後の生活習慣改善につながる住民やグループを支援する	○	○
・健康づくり活動をするグループや人材を地域の中で発掘する	○	○
取組②住民に必要な健康情報を発信する		
・啓発の場を商業施設など人が集まる場所にも増やす	○	○
・子どもの生活習慣の課題や方策について、小中学校と協議の場をもつ	×	○
・子どもを対象にした生活習慣病確立のためのリーフレットを作成し、配布する	×	×
取組③生活習慣病予防のための健康教室や講演会を開催する		
・若い世代への健康教室や講演会の周知を強化する	○	○
課題2：健診を活用した健康づくりを推進する		
取組①地域で情報交換し、受診勧奨しあうしくみづくりをする		
・地域で活動しているグループと連携し、グループを通じて地域住民への受診勧奨を行う	×	×
取組②健診の必要性についての普及啓発を強化する		
・「家族の健康カレンダー」を活用し、健診の必要性についての啓発を拡充する	○	○
・関係課や医療機関と連携し、特定健診の対象者全員へ案内を送付する	○	○
・子宮がん検診で、受診率が低く無関心層の多い20-30歳代への受診勧奨を強化する	○	○
取組③健診受診後の保健指導を充実させ、自己管理ができるように支援する		
・新たな健康教室を開催し、保健指導メニューの充実を図る	○	○
・生活改善に向けた支援や指導について、訪問や電話など積極的なアプローチをする	○	○
取組④みんなが受けやすい健診体制を整備する		
・乳がん検診の受診場所の拡大や、子宮がん検診の受診期間の拡充を図る	○	○
・健(検)診時の託児を設ける	○	○
達成率	78.60%	85.71%

【令和元年度に取り組んだこと】

【課題1】

- 〈取組①〉 ●健康教室参加者をせいか365プロジェクト活動育成セミナーにつなげ、教室後も主体的な健康づくりに取り組めるように支援
- 〈取組②〉 ●体操教室や飲食店へ講演会や教室の案内を配架し、周知を強化
- 〈取組③〉 ●保育所や幼稚園、育児サークルへの健康講演会や健康づくりイベントチラシを配布し周知を強化

【課題2】

- 〈取組①〉 ●東畑老人会で健康教育を実施し、団体への受診勧奨実施
- 〈取組②〉 ●がん検診の案内を広報誌に掲載し、健(検)診啓発を強化
- 〈取組③〉 ●糖尿病重症化予防「糖尿病まなび塾」にて、ハイリスク者に対する保健指導を実施
 - 参加しやすいよう方法を工夫し、特定健診結果相談会を日曜日に開催
 - 特定保健指導対象者に対し電話や訪問で保健指導を実施
- 〈取組④〉 ●乳がん検診指定医療機関を1医院追加
 - 女性がん検診の受診期間延長。女性がん検診の受診勧奨、再勧奨を実施
 - 新生児訪問等の母子保健事業で成人健(検)診の受診勧奨を実施。
 - 女性がん集団検診に加えて5～6月の集団健診において託児を実施（女性がん検診は前年度より実施）

【令和2年度の取組状況】

- 地域で活動する住民グループと連携した健診受診勧奨の実施
 - ⇒●住民グループが感染拡大防止のため、R2年度活動中止
- 子どもの生活習慣の改善について、関係機関と連携し、方策を検討する
 - ⇒●養護教諭と話し合いの場をもち、教育分野と保健分野の連携のきっかけづくりをした
- 若年層等ターゲットを絞った受診勧奨を継続実施し、受診率向上を図る
 - ⇒●70歳未満の乳がん検診・子宮がん検診の申込制をなくし、対象者に受診券を配布

基本目標3：みんなでニコニコ健康生活！

(2) たばこ・アルコール

◇行政の取り組み

達成状況 達成：○ 未達成×

課題1：喫煙率を低下させる		H30年度	R1年度
取組①禁煙・分煙を推進する			
	・施設の禁煙対策が進むよう働きかける	○	○
取組②COPDの知識を普及啓発する			
	・COPDの啓発について、禁煙対策と一体的にすすめる	○	○
	・喫煙者に対して、COPDのスクリーニング票を活用した啓発や予備軍への指導を行う	○	○
取組③喫煙による健康への影響について情報提供する			
	・京都府・学校との連携で未成年者への教育内容の充実を図る	○	○
	・妊婦の喫煙状況を把握し、喫煙者については個別的な禁煙支援をしていく	○	○
	・各種母子保健事業を通じて養育者・同居者の禁煙状況を把握し、啓発媒体を活用した禁煙支援、啓発を行う	○	○
	・禁煙希望者に、禁煙のための情報提供や禁煙外来などの支援を受けられる場所を掲載したチラシを作成し配布する	×	×
	・広報誌やホームページ、キャラクターの活用など多様な媒体を活用して啓発を強化する	○	○
	・世界禁煙デーや禁煙週間に積極的な啓発に取り組む	○	○
課題2：適切なお酒との付き合い方が理解できる			
取組①アルコールが健康に及ぼす影響や適切な飲酒量について情報提供する			
	・京都府、学校と連携し教育内容の充実を図り、未成年者への教育を強化する	○	○
	・妊婦教室で啓発を図る	○	○
	・妊婦届出時に飲酒状況を把握し、飲酒者に対しては個別支援を実施する	○	○
	・多量飲酒者（アルコール依存症）への支援は、京都府と連携した個別支援を進める	○	○
	・断酒会、アルコール依存症者治療対応病院などの情報提供を行う	○	○
	・広報誌やホームページ、キャラクターの活用など多様な媒体を活用して啓発を強化する	○	○
達成率		93.30%	93.30%

【令和元年度に取り組んだこと】

【課題1】

〈取組②〉 ●健（検）診や結果相談会でのCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の周知啓発や保健指導実施

【課題1、2】

〈取組③〉 ●母子手帳発行時には飲酒、喫煙をしている妊婦を把握し、保健指導を実施

●パパママ教室で喫煙・受動喫煙に関する保健指導を実施

●町内中学校で全学年保健体育の授業でアルコールについての授業を実施

「生命のがん教室」で京都府が喫煙・受動喫煙についての授業を実施

●ホームページにて、飲酒についての知識の普及、適切な飲酒量について啓発を実施

●広報誌で、たばこの健康被害について掲載

【令和2年度の取組状況】

○継続的に公的施設の敷地内禁煙が進むように、働きかける

⇒●パンフレットの配架

○医師会や薬剤師会と連携し健康講演会を実施し啓発

⇒●感染症拡大防止のため中止

○未成年者の教育を強化するために、学校等と連携する

⇒●養護教諭と話し合いの場をもち、教育分野と保健分野の連携のきっかけづくりをした

基本目標4：笑顔でいきいき過ごしましょう！

(1) 休養・こころの健康づくり

◇行政の取り組み

達成状況 達成：○ 未達成×

課題1：うつ病など、こころの病気を予防する	H30年度	R1年度
取組①こころの病気についての正しい知識と理解を促進する		
・健康教室や講演会、健診で自殺、うつ病などこころの健康づくりに関する啓発を図る	○	○
・自殺予防週間や自殺対策強化月間に、積極的な啓発に取り組む	○	○
取組②心の病気について、相談や支援できる人材を育成する		
・京都府や関係課と連携し、こころの健康推進員の育成や事業の周知を図る	○	○
取組③こころの病気の専門的な相談窓口の存在について周知する		
・相談窓口になる機関について周知を進める	○	○
取組④こころの病気をもつ人を支える専門機関のネットワークを強化する		
・関係機関と連携し、こころの病気をもつ人を支える居場所づくりを目指す	○	○
・関係機関と連携して、自殺対策の強化を図る	×	○
課題2：楽しく安心して子育てができる		
取組①地域で子育て家庭を見守り、支援する		
・育児不安が強い養育者や問診票で支援が必要と判断された者へのサポートを充実させる	○	○
・母子保健事業の充実と関係機関との連携により、地域で子育て支援をするネットワークづくりを進める	×	○
取組②地域の中で子育てについて相談・支援できる人材を育成する		
・地域での子育ての相談・育児サポートができる人材を見つけ、活動ができる場を紹介する	○	○
取組③母子保健・子育て支援事業を充実させる		
・妊娠期からの切れ目のない支援が行えるしくみをつくる	○	○
・母子保健事業の機会を活用し、若い世代に対し、睡眠や休養についての啓発を行う	×	×
・育児で孤立する人や育児に肯定感を持っていない人を母子保健事業を通じて把握し、安心して子育てができるように支援する	○	○
取組④いろいろなニーズに対応した子育て支援情報を発信する		
・町内全中学校での乳幼児交流事業の実施を目指し、他課と連携する	×	○
達成率	61.50%	92.30%

【令和元年度に取り組んだこと】

【課題1】

- 〈取組①〉 ●パパママ教室で産後うつに関するリーフレットを配布
- 〈取組②〉 ●職員を対象としたゲートキーパー研修の実施（社会福祉課）
- 〈取組③〉 ●こころの病気を抱える人に対して医療機関連携と受診調整の実施
関係機関との情報共有及び当事者や家族支援の実施
- 〈取組④〉 ●ひきこもり支援ネットワーク会議に参加し、関係機関とネットワークの構築を図った
●せいか365プロジェクト活動育成セミナーや住民団体と連携し“居場所”や“つながり”を重視した活動の実践ができた
●自殺予防対策計画策定に携わり、各機関の役割について整理、共有した

【課題2】

- 〈取組①〉 ●妊娠届出時の全数面談で、支援が必要な者への早期支援を実施
●産前産後サポートに係る支援者の人材発掘・育成に取り組んだ
●精華町母子健康包括支援センター運営検討委員会にて、関係機関と意見交換を行いネットワークづくりを進めた
- 〈取組③〉 ●令和2年1月より産後ケア事業を実施し、産後の支援の充実を図った
- 〈取組④〉 ●町内全中学校で「中学生と赤ちゃんの交流事業」の実施に向けた協議の場を持った
(イベントは感染拡大防止のため中止)

【令和2年度の取組状況】

- 自殺予防やこころの病気の周知強化。自殺や不登校等の心の健康づくりについて、精華町第1次自殺対策計画と整合性を図り、関係機関と連携し課題を整理する。
- 関係機関とのネットワークの強化、講演会などで啓発、365プロジェクト育成セミナーや住民団体と連携し居場所づくりを目指す。子育て期の保護者同士がつながれる場の提供をする。
⇒●感染拡大防止のため、講演会、365プロジェクトなどの住民活動は概ね中止
⇒●養護教諭と話し合いの場をもち、教育分野と保健分野の連携のきっかけづくりをした

基本目標4：笑顔でいきいき過ごしましょう！

(2) 生きがい・ふれあい・社会参加

◇行政の取組み

達成状況 達成：○ 未達成×

課題1：自分を認めた生き方ができる	H30年度	R1年度
取組①自己肯定感を高める学習の場を作る		
・保健事業で、元気増進軸を増やすことを意識した運営をしていく	○	○
・子育て世代包括支援センターを設立し、妊娠期から切れ目なく、自分らしく安心して子育てが続けられるような支援の充実を図る	○	○
課題2：社会の中で自分らしい力を発揮できる		
取組①若い世代の人が参加できる仕組みを考え、世代間交流の機会を持つ		
・中学生と赤ちゃんの交流会を拡充できるよう連携する	○	○
・若い世代のニーズ把握を進める	×	○
・ロコモティブシンドロームについて、定期的な広報掲載や啓発場所の拡大を図	○	○
取組②地域のリーダーを育成する		
・事業を通じてリーダーを発掘し、地域型のせいか健康づくりプロジェクトの拡大を図る	×	○
・せいか健康づくりプロジェクトの参画者、プロジェクト数を増やす	○	○
取組③自分らしい力を発揮する場の周知をする		
・せいか健康づくりプロジェクトに参加・参画しやすいように、活動やルールなどの周知を行う	○	○
・社会活動に積極的な60歳前後にターゲットを絞って周知を行う	×	×
・パネルの設置など、健康づくり情報が得やすい工夫を図る	○	○
達成率	70%	90%

【令和元年度取り組んだこと】

【課題1】

〈取組①〉

- 健康教育やせいか365プロジェクト活動育成セミナーにおいて、元気増進軸を意識して事業実施。
- 安心して妊娠期を過ごし、出産・育児に臨めるよう、母子健康手帳交付時に全対象者に面談の実施
- 産後ケア事業を開始。

【課題2】

〈取組①②③〉

- 中学生と赤ちゃんの交流事業の拡充に向けて、関係機関で課題共有した
- せいか365プロジェクト活動育成セミナーの実施
 - ・子育て世代の参画・参加があった
 - ・「寺子屋プロジェクト」で、地域型プロジェクト活動を意図してイベントを実施
 - ・活動を通じて組織を牽引する人材の発掘ができた。
 - ・せいか365職員運動推進部会の職員メンバーや協働のまちづくり推進室と連携して進めることで、職員の人材育成ができた
- せいか365プロジェクトの6団体の活動実施
 - ・定期的に交流し、自主的に活動する土台ができた
 - ・イベント情報や活動報告を広報誌を活用し周知した

【令和2年度の取組状況】

- 各保健事業において継続して元気増進軸を意識した事業運営をする
 - ⇒●感染拡大防止のため、中止の事業が多いが、オンラインで教室の開催や感染対策を取りながら、つながりを意識した事業を展開
- 協働のまちづくり推進室等の関係課と連携しながら全町をあげて「協働のまちづくり」を推進できるように、全庁的な意思統一を図る
 - ⇒●職員を対象としたSDGS研修の実施に向けて準備中
- せいか365プロジェクト活動育成セミナーで活動継続中の新規プロジェクトの活動支援
 - ⇒●最終報告会は感染拡大予防のため中止
 - 活動継続中の「いつも野菜カフェレストラン」プロジェクトの支援実施

②各基本目標に共通した取り組み

しくみづくり・人づくり・プロジェクトづくり

【令和元年度取り組んだこと】

【しくみづくり】

- (1) 庁舎内各課との連携・協働：

「せいか365プロジェクト活動セミナー」を開催 5つの新規プロジェクトが始動。4月17日：企画会議の開催（50人参加）、8月26日：中間発表会（54人参加）随時企画実践。

- (2) 住民との連携・協働および(3) 住民との連携・協働：

既存のプロジェクトにより「せいか365健康づくりプロジェクト交流会」を年2回開催し、交流及び活動情報交換、研修を住民全体で実施。6月30日（37人加）、11月24日（24人参加）

【ひとづくり】

「せいか365プロジェクト活動セミナー」で実践としてプロジェクトの企画実施を住民協働で行い、住民および職員の人材育成を行った。

【プロジェクトづくり】

5つの新規プロジェクトが始動し、住民参画の健康づくり活動を実施

【令和2年度の取組状況】

○既存のプロジェクトの交流会及び新規プロジェクトや参画者の活動を支援し、既存プロジェクトと新規プロジェクトの活動がつながるようコーディネートする

⇒●感染拡大防止のため、活動報告会は中止

⇒●継続の意思を示している新規プロジェクト「いつも野菜カフェレストラン」とせいか365健康づくりプロジェクトの交流を図り、住民の主体性を図りながら活動支援を実施